

はじめに

近年、グローバル化や技術革新等により社会は大きくまた急速に変化しており、予測困難な時代となっています。また、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）の広がりなど、Society5.0（超スマート社会）とも呼ばれる新たな時代の到来が、社会や生活を大きく変えていくとも言われています。

このような時代にあつて、平成29年3月に幼稚園教育要領等、小・中学校学習指導要領が「社会に開かれた教育課程」をキーワードとして、三つの柱で整理された育成を目指す資質・能力の明確化、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進、カリキュラム・マネジメントの推進等を基本方針として改訂されました。学校教育においては、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むことが求められています。しかし、学習指導要領等を踏まえ、各園、学校の特色を生かして創意工夫を重ねながら家庭や地域社会と協力して、教育活動の更なる充実を図っていくことが重要であることは、今までと変わるものではありません。

東部教育局では、平成26年1月に「元気いっぱい 園・学校づくりのポイント集」を作成し、日々の授業づくりや校内研修の改善・充実のために活用いただいているところです。このたび、学習指導要領等改訂や関係法規等の内容を踏まえて、本冊子を改訂いたしました。学校教育目標を実現するための基盤づくりに関する序編から始まり、幼児教育、授業づくり、人間関係づくり、特別支援教育、学校・家庭・地域連携に至る構成は、平成26年版を踏まえたものとなっていますが、内容については、「カリキュラム・マネジメントの充実」「特別の教科 道徳」「多様な学びの場における教育の充実」等を追補する等、新学習指導要領が示すところを反映したものとなっています。また、各園・学校から提供いただいた写真や資料、実践例等をまじえた内容としており、各園・学校でどのように取り組んでいけばよいかをイメージしやすいように工夫しています。

皆様におかれましては、日々の授業づくりや園・校内研修の改善・充実のために、本冊子を積極的にご活用いただければ幸いです。各園・学校の特色を生かして創意工夫を重ねながら、子どもたちの学びの更なる充実が図られていくことを祈念しております。

平成31年3月

鳥取県教育委員会事務局東部教育局

局長 吉川 誠 司